おうちで楽しむ！ 草津れきし発見隊!!

草津ものしりクイズ

上級編５　回答解説（答え合わせ）

読むのがむずかしいときは、おうちの人といっしょに読んでね。

もんだい１	答えは①の「家形埴輪」です。 家形埴輪とはその名のとおり建物をかたどった埴輪のことです。 草津市内では横土井遺跡（野路）や狭間遺跡（矢橋町）、芦浦遺跡（芦浦町）から出土しています。 また、草津市から出土した家形埴輪の一部が、安土城考古博物館に展示されています。
こたえ ①	

もんだい２	答えは①の「器を燻して磨く」です。 近江型黒色土器は、軟質の素焼きの土器を燻したもので、燻すことで器に保水性や光沢感をもたせようとしたといわれています。 主として、器の内側を燻すため、内側全体と外側の上部が黒色となります。 近畿地方の中心部では、平安時代後半頃から黒色土器にかわって瓦器（窯を用いて硬質になった素焼きの土器を燻し、器の全体が暗い灰色～黒色となり、瓦のような質感の土器）が使われるようになりますが、滋賀県内では、瓦器はあまり用いられず、近江型黒色土器が一般的に使用されるという特徴があります。瓦器は、県内で量的には少ないながら当時の街道沿いに出土する傾向があり、街道を通じて当時の都市である奈良と関連をもっていた可能性が考えられます。 西海道遺跡（南笠町）出土：近江型黒色土器 西海道遺跡（南笠町）出土：瓦器
こたえ ①	

もんだい 3	答えは③の「矢倉」です。 草津のサンヤレ踊りが伝承される７地域、矢倉・下笠・片岡・長束・志那・吉田・志那中のうち、矢倉のみ旧草津川以南の地域です。 矢倉のサンヤレ踊りは２年に１度、５月３日に実施され、若宮八幡宮・立木神社を中心に行われます。
こたえ ③	

もんだい 4	答えは②の「御礼おどり」です。 渋川の花踊りは室町時代、文明元年（1469）に行われた雨乞いの祈願がかなったことへのお礼に踊りを奉納したことがこの祭りの始まりといわれています。 渋川の花踊りは、シンボウウチと呼ばれる役者が太鼓打ちの太鼓のリズムに合わせた小歌とともに片足を上げて飛び跳ねながら踊り、周りを主導するかたちで行われます。
こたえ ②	

もんだい 5	答えは①の「篤姫」です。 史跡草津宿本陣に残る資料では、篤姫が田中七左衛門本陣を利用した記録はありません。 篤姫は江戸への輿入れの際、草津宿に立ち寄ってはいますが、田中七左衛門本陣ではなく、田中九蔵本陣を利用しました。 ②の和宮は、文久元年(1861)に京都より十四代将軍徳川家茂の正室として降嫁する際に草津宿に立ち寄り、七左衛門本陣で昼休憩をとりました。 ③の寿明宮は、嘉永２年（1849）に京都一条家より十三代将軍家定の継室として嫁ぐ際に七左衛門本陣を利用しています。ちなみにこの時は当初、九蔵本陣で宿泊の予定でしたが、急遽、七左衛門本陣の利用へと変更しています。
こたえ ①	

【問合せ先】
草津市歴史文化財課　〒525-8588　草津市草津三丁目 13-30
TEL：077-561-2429　FAX：077-561-2488　E-mail：bunkazai@city.kusatsu.lg.jp